



オーディオインターフェース マニュアル



©株式会社ズーム 本マニュアルの一部または全部を無断で複製/転載することを禁じます。

目次
オーディオインターフェースとコントロールサーフェース
Cubase LEのインストールの流れ       5         ①オーディオインターフェース       5         ②コントロールサーフェース       5
R8 オーディオインターフェース 動作環境       6         R8 オーディオインターフェース動作環境       6         Cubase LEスタートアップガイド       6
<b>オーディオインターフェースモードの接続と解除</b> 7 初めてR8をコンピューターに接続する場合 7 R8の設定と接続 7 接続解除 8
コントロールサーフェース機能を使う       9         コントロールサーフェースについて       9         コントロールサーフェースの設定       9         トランスポートセクション       10
フェーダーセクションの操作       11         バンクについて       11         フェーダーセクションを操作する       11         R8のレベルメーター(オーディオインターフェース時)       12
<b>ファンクションキーを設定する</b> 13 ファンクションキーの設定方法 13
コントロールサーフェース機能早見表 14
Cubase LEを使って録音する 1       15         新規プロジェクトを作成する       15         新規オーディオトラックを作成する       16
Cubase LEを使って録音する 2       17         楽器の接続       17         録音レベルを調整する       18

Cubase LEを使って録音する 3 ······	
或日 録音内容を確認(再生)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
オーディオデータをCubase LEに取り込む 1	
ドラッグ&ドロップで取り込む ・・・・・	
オーディオデータをCubase LEに取り込む 2	
"読み込み"コマンドで取り込む ・・・・・	
オーディオインターフェースモードのミキサー	
VOLUME、REVERB SEND、PAN ·····	
STEREO LINK	
[BALANCE] ······	
チューナー	
クロマチックチューナー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
オーディオインターフェースモードのエフェクト	
インサートエフェクト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	27
センドリターンエフェクト ・・・・	27
パッチの初期化	
パッチの初期化/工場出荷状態・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
その他のDAWのコントロールサーフェース設定方法 1	
SONAR	
その他のDAWのコントロールサーフェーフ設定方注 2	21
Digital Performer	

## オーディオインターフェースとコントロールサーフェース

コンピューターに接続し、DAWソフトウェアなどと連携させる、**用8**のオーディオインターフェース/コントロールサーフェースの機能と設定方法を説明します。

#### オーディオインターフェース/コントロールサーフェースの機能





#### ギター・マイク・ラインなど多種 の入力ソースに対応

ハイインピーダンス対応の入力端子およ びファンタム電源(24V、48V)を装備し た、XLR/標準フォーン兼用入力端子を 2基搭載。

ギター/ベースなどのハイインピーダン スの楽器から、ダイナミックマイクやコ ンデンサーマイク、さらにシンセサイザー などのラインレベル機器まで、あらゆる ソースに対応できます。

また、アコースティックギターやボーカ ルの録音に便利な高性能コンデンサマイ クも内蔵されています。

#### ■多彩なエフェクト機能

内蔵エフェクトとして、特定の信号経路 に挿入する"インサートエフェクト"と、ミ キサーのセンドリターン経由で利用する "センドリターンエフェクト"の2種類を搭 載。録音時の"かけ録り"はもちろん、モニ ター信号にのみエフェクトをかけること も可能です。

ボーカル録音の際には、歌いやすくする ために、モニター信号にのみリバーブを かけることができます。

#### ■充実の内蔵ミキサー

**R8**の内蔵ミキサーを使って、モニター 用のミックスを作ることができます。ギ ターとボーカルの同時録音の際に、音量 バランス、定位、リバーブの効き具合を 調整することが可能です。 また、内蔵ミキサーとPCからの返りの音 のバランスを調整することも可能です。

#### ■多機能チューナー

標準的なクロマチックチューニングはもちろん、7弦ギターや5弦ベースのチューニングや変則チューニングにも対応するチューナー機能を搭載しています。

## Cubase LEのインストールの流れ

DAW ソフトウェアを使うときは、ソフトのインストールだけではなく**屏8**を認識させるオー ディオドライバのインストールと設定が必要になります。ここでは、Cubase LEで説明します。

## 🛈 オーディオインターフェース

R8をコンピューターと外部のオーディオ機器や楽器の間に配置して、信号をDAWソフトウェアなどに録音することができます。ハイインピーダンス、ファンタム電源を必要とする楽器類が接続可能です。

**②** コントロールサーフェース

**R8**のパネル上にあるフェーダーやキーを使って、 コンピューター上のDAWソフトウェアのトランス ポート操作やミックス操作をリモートコントロール します。



(\*Macintoshの場合は必要ありません)

#### **R8** オーディオインターフェース 動作環境

#### (Windows)

Windows® XP SP3以降(32bit) Windows® Vista SP1以降(32bit,64bit) Windows® 7(32bit,64bit) 32bit: Intel® Pentium® 4 1.8GHz以上 64bit: Intel® Pentium® Dual Core 2.7GHz以上 32bit: RAM 1GB以上 64bit: RAM 2GB以上

#### Cubase LEスタートアップガイド

ZOOM R8 オーディオドライバとCubase LE の詳細なインストール方法は、製品付属の別紙 "Cubase LEスタートアップガイド" を参照してく ださい。

#### (Intel Mac)

OS X 10.5.8/10.6.5以降 Intel® Core Duo 1.83GHz 以上 RAM 1GB以上

各USB 2.0対応ポート

※ USBハブは使用しないでください。 ※ Intel®チップセットを推奨します。

#### 表記について

本マニュアルは、Windowsを基本に作られています。 Mac OS X特有の機能は個別明記します。

本マニュアルでは、スクリーンショット(画面の図) に Windows版の Cubase LE を使用しています。

#### 商標について

- ◎ *≤≥*□ゴ、 **そ**SDHC□ゴは商標です。
- ◎ Windows® Windows® XP / Windows Vista® / Windows 7® はMicrosoft®社の米国における登録商標です。
- ◎ Macintosh®、Mac OS® は、Apple Inc. の商標です。
- ◎ Steinberg並びにCubaseはSteinberg Media Technologies GmbH社の登録商標です。
- ◎ Intel® Pentium®は、Intel® Corporation社の商標です。
- ◎ Mackie ControlはLOUD Technologies社の登録商標です。
- ◎ Logicは、Apple Inc. の商標です。
- ◎ SONARは、米国Cakewalk, Inc. の商標です。
- ◎ Ableton Live、は Ableton AG の商標です。
- ◎ Digital PerformerはMark of the Unicorn社の登録商標です。
- ◎ 文中のその他の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。

製品の仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

## オーディオインターフェースモードの接続と解除

オーディオインターフェースモード時の、コンピューターとの接続と解除について説明します。 詳細は付属のCubase LEスタートアップガイドを参照してください。



#### NOTE

[ZOOM R8 オーディオドライバ]は、**界8**をDAW ソフトウェア("Cubase LE"など)のオーディオイ ンターフェースとして使用するために必要なソフト ウェアです。(Macintoshの場合は必要ありません)

●最新の**界8**用オーディオドライバは、株式会社 ズームのホームページ(http://www.zoom.co.jp) からダウンロードしてください。

オーディオインターフェースマニュアル



#### NOTE

#### [Continue]で引き継げるデータ

- INSERT EFFECTの設定
- SEND RETURN EFFECTの設定
- ・ミキサーの設定
- TUNERの設定

[Reset]

各項目の初期設定値

- オーディオインターフェース/コントロールサー フェース機能は、USBケーブルから供給される バスパワー電源で使用できます。
- ・**R8**本体のシステムソフトウェアは、常に最新の 状態にしておくことをお勧めします。

## コントロールサーフェース機能を使う

**R8**をUSBで接続し、オーディオインターフェースとして動作しているときに、**R8**のキーやフェーダーを使って、Cubase LEのトランスポート操作やミックス操作をリモートコントロールできます。



#### トランスポートセクション

コントロールサーフェースの設定をすると、**保多**の トランスポートセクションのキーは、Cubase LEの 各機能に対応します。



#### HINT

オーディオインターフェースとして動作しているとき、CONTROL IN端子にフットスイッチを接続すると、再生/停止、エフェクトパッチの変更などを足元で操作することができます。

☞ 参照:オペレーションマニュアル フットスイッチを使う



## フェーダーセクションの操作

フェーダーセクションのフェーダー/ステータスキーを使って、Cubase LEの対応するト ラックのボリューム、ミュート/録音待機/ソロのオン/オフ切り替えが行えます。

#### バンクについて

コントロールサーフェースを設定すると、**尺多**の フェーダーセクションのフェーダー/ステータス キーを使って、Cubase LEの主要なパラメーターを 操作することができます。

フェーダー/ステータスキーを使って操作するト ラックの組み合わせを"バンク"と呼びます。

**R8**では、1つのバンクで連続した8トラックを操作できます。

例えば、フェーダー1がCubase LEのトラック1に 割り当てられている場合、次の表のようにトラック 1~8が操作対象となります。



表のようにトラック1~8が割り当てられている ときに、 (11) の下の 〇 を1回押すと、割り当 てが次の表のように変化します。

	1	2	З	4	5	6	7	8	
トラック	Tr. 9	Tr.10	Tr. 11	Tr.12	Tr.13	Tr.14	Tr.15	Tr.16	

フェーダーセクションに割り当てられているト ラック(チャンネル)を、1バンク前に移動します。

フェーダーセクションに割り当てられているト ラック(チャンネル)を、1バンク後に移動します。

#### フェーダーセクションを操作する

Cubase LEの 操作したいトラック(チャンネル)を フェーダーセクションに割り当てる

2 フェーダーを使って、 対応するトラックのボリュームを 操作する

> フェーダーは、それぞれのトラックのボリュー ムに対応しています。[MASTER]フェー ダーを操作すると、マスターボリュームが変 化します。







」 ステータスキーの機能 切り替え





#### DAWへの録音レベルを確かめるには

REC SIGNALの設定により、インサートエフェク ト通過後の信号(REC SIG: Wet)と、通過前の信 号(REC SIG: Dry)を選んで、コンピューターへ送 ることができます。



## ファンクションキーを設定する

トランスポートセクションの5つのキーを、ファンクションキー(F1~F5)として、 希望の設定を割り当てることができます。



## コントロールサーフェース機能早見表

Cubase LE、Cubase、Logic Pro、SONAR、Ableton Live、Digital Performerをお使いの 場合の機能です。

	操作子	説明
	ステータスキー	対応するトラックのミュート(Mute)、録音待機(Rec)、 ソロ(Solo)のオン/オフ切り替え
フェーダーセクション	フェーダー	対応するトラックのボリュームの操作
	フェーダー([MASTER])	マスターボリュームの操作
ディスプレイセクション	ソフトキー	ステータスキーの機能の切り替え、バンク切り替え、 接続解除(EXIT)
	カーソルキー	コンピューター上のカーソルキーと同様の機能(*1)
	DIAL	プロジェクトカーソルの位置を移動する(*2)
	[REW]+-	巻き戻し
	[FF]≠—	早送り
	[STOP]+-	停止
トニンフポートセクション	[PLAY]+-	再生
ドリンスホードセンション	[REC]+-	録音
	[AUTO PUNCH I/O]+-	F1:ファンクションキーの割り当てを参照してください
	[A-B REPEAT]+-	F2:ファンクションキーの割り当てを参照してください
	MARKER [	F3:ファンクションキーの割り当てを参照してください
	MARKER [ ►► ]≠-	F4:ファンクションキーの割り当てを参照してください
	[MARK/CLEAR]+-	F5:ファンクションキーの割り当てを参照してください

\*1: Digital Performerはウィンドスクロール

\*2: Digital Performerは割り当てなし

## Cubase LEを使って録音する 1

R8とCubase LEを使い、録音を行ってみましょう。

#### 新規プロジェクトを作成する

ZOOM **保8**用 プロジェクトテンプレートを コンピューターにコピーする

**R8**付属SDカードのCubaseLE\_templateフォル ダの中身を、Cubase LEのインストール先の下記 フォルダにコピーします。

#### Cubase LE5の場合

#### [Windows]

C: ¥Program Files¥Steinberg¥Cubase LE5 ¥templates

#### [Macintosh]

/アプリケーション/CubaseLE5.app/Contents/ templates/

#### Cubase LEを起動する





プロジェクト用のテンプレートを選ぶ"新規プロジェ クト"ウインドウが表示されます。



#### "新規プロジェクト"を作成する

あらかじめ**吊多**用のプロジェクトテンプレートを指定のフォルダにコピーしておくと、新 規プロジェクトを作成する際に、**吊多**用の プロジェクトテンプレートが表示されます。 これらのテンプレートを選択することで、 オーディオトラックの入出力が設定済みのプ ロジェクトとして簡単に作成できます。

◆ 新規プロジェクト	×
テンプレート・	
空白 CLE - 16 MIDI Tracks CLE - 4 Stereo 8 Mono Audio Track Recorder CLE - Cubase Synths On Instrument Tracks CLE - Mastering Setup CLE - Podcasting default ZOOM R8 Mono Recording ZOOM R8 Stereo Recording	^
	~
OK +*>	211

#### テンプレート名と内容

#### ZOOM R8 Mono Recording

Cubase LE上のモノラルトラック1〜2に、 **席8**の[Input 1〜2]を割り当てたプロジェクト

ZOOM R8 Stereo Recording

Cubase LE上のステレオトラックに、 *R8***の[Input 1~2]を割り当てたプロジェクト** 

#### 保存場所を指定し、 OKボタンをクリックする

#### プロジェクトファイルの保存場所を選ぶウインドウ が表示されます。



新規プロジェクトが作成され、Cubase LEの操作の中心となるプロジェクトウインドウが表示されます。

Caluer II 5 - Date		- 8848																	
◆ 2HAD 編集2 21	0715105 4-7449	/ MDRM	37 A 22	12/2	2.6+10	- 7110	120.0	6470	P 146	19	_	_	_	_	_	_	_	_	-
		2.0	和同门	100	a R X	81.	50		38	18	- #	+#	· 1	8 101	•	- ×			
###75/x5191																			
				ò –	\$	2	-	÷.	'n.	16	12	15	10	30	8	12	39	31	- 65
						_					÷.,								
10 Star - B			1.1.1	. •.	-	]ä			4										
1111 Inen 12	K	<< >>	N D		>		HE ~		-1					-	-	1		-	
			_	_	-	_	_	_	_	_	_	_	_	_	-	_	_	_	_



バスを選びなおすときは、この部分をクリックし、 表示されるメニューから新たなバスを選択します。

#### NOTE

インスペクターは、現在選択されているトラックの 情報を表示します。何も表示されないときは、ト ラックをクリックして選択状態にしてください。

## Cubase LEを使って録音する 2



楽器の接続 6 R8の[INPUT]端子に ギターなどの楽器を接続し、 エフェクトパッチを選ぶ ここで選択したエフェクトパッチで加工された信号 が、[USB] 端子を経由してコンピューターに録音さ れます。 **R8**の入力信号の選択方法 1287 参照:オペレーションマニュアル 接続 P.82 エフェクトパッチを選ぶ Cubase LEの"デバイス" メニューから"ミキサー"を選ぶ iase LE 5 ブロジェクト - 名称末読 ソジーン1000000 VGT コネクション(火) VGT パフォーマンス(な) ビデオウィンドウ(化) バーチャル キーボード(名) パネルを表示い

ミキサーウインドウには、作成したトラックに対応するチャンネルとマスターチャンネルが表示されます。

以下の操作をする



HINT

モニタリングボタンが点灯しているときは、フェー ダーの隣にあるレベルメーターにオーディオトラッ クの入力レベルが表示されます。また、消灯してい るときは、オーディオトラックの出力レベルが表示 されます。



## Cubase LEを使って録音する 3



マスターチャンネルの



トランスポートパネルのボタンで、 プロジェクトの先頭に移動する



トランスポートパネルの 再生ボタンをクリック、 再生する



再生ボタン



#### HINT

録音後に再生ボタンをクリックしても音が出ない場合 は、VSTコネクション(Cubase LEスタートアップガ イド Step6)の設定をもう一度確認してください。 もしくは、[BALANCE]コントロールが中央になっ ているか確認してください。

#### 快適に使用するために

Cubase LEを使用中に、極端にアプリケー ションの動作が遅くなったり、「USBオー ディオインターフェースとの同期がとれな い」などのエラーメッセージが表示されたり することがあります。このような現象が頻繁 に起きるときは、以下のような点に注意して いただくと、改善される場合があります。

#### ● Cubase LE以外に 動作しているアプリケーションを 終了させる

特に常駐ソフトなどが多く登録されてい ないかを確認してください。

#### ② Cubase LEで使用している プラグインソフト(エフェクト、 音源プラグイン)を減らす

プラグインが多い場合、コンピューター の処理性能が追いつかなくなっているこ とが考えられます。また、同時再生トラッ ク数を減らすことも有効です。

音切れが発生したら、デバイスメニューからバッファサイズの設定を行ってください。 詳細は Cubase LEスタートアップガイド Step5を参照してください。 その他、アプリケーションの動作が極端に 遅くなり、コンピューター自体の操作に支 障をきたす場合は、一度 Cubase LEを終了 して**用8**のUSB端子をコンピューターから 取り外した後で、再度 USB端子を接続して から Cubase LEを再起動してみることをお 勧めします。

## オーディオデータをCubase LEに取り込む 1

**R8**とパソコンをUSBケーブルで接続し、**R8**をカードリーダーに設定すると、**R8**で録音したオー ディオデータをWAVファイルとしてCubase LEのオーディオトラックに取り込むことができます。





ファイルをドラッグ&ドロップすると、取り込んだ ファイルをCubase LE上にどのように並べるかを 選択するウインドウが表示されます。

#### "異なるトラック"または "1つのトラック"をクリックして、 取り込み方法を選択する

通常は"異なるトラック"を選びます。こうすれば、 取り込んだファイルの数だけ自動的にトラックが 作成され、ファイルが縦方向に配置されます。 "1つのトラック"を選ぶと、1本のトラックに横方 向に配置されます。



取り込み方法を選ぶと、"読み込みオプション"ウイン ドウが開きます。

"読み込みオプション"ウインドウ の"作業ディレクトリにファイルを コピー"にチェックを付け、 "OK"をクリックする



#### オーディオデータがCubase LEの トラックに取り込まれる



- ・プロジェクトのデータは、SDカードのZOOM R8 フォルダ内のPROJECTフォルダの中に、プロジェ クト毎にフォルダを作成して管理しています。オー ディオデータは、各プロジェクトフォルダ内の AUDIO フォルダの中にWAV ファイルとして保存さ れています。AUDIO フォルダ内の PRJINFO.TXT に は、トラックに割り当てられているファイル名が書 かれています。
- ・マスタートラック、ステレオトラックはステレオ WAVファイルです。
- ・コンピューターからWAVファイルを送り込む場合、 取り込みたいプロジェクトのフォルダの"AUDIO"に コピーしてください。トラックに割り当てたい場合 は**吊8**で操作します。

## オーディオデータをCubase LEに取り込む 2

2



取り込みたいファイルを含む プロジェクトの "AUDIO"フォルダの中から オーディオファイルを選択して (複数選択可)、 "開く"をクリックする

#### AUDIO . .... 名用 単位表示した場所 単 MONO-000.WAV 単 MONO-001.WAV 単 MONO-002.WAV 名前 更新日時 编辑 Wave サウン 2010/01/01 10:13 Wave サウ 2010/01/01 0:00 Wave サウン MONO-003.WAV 2010/01/01 0:00 Wave they 21750 e, コンピューター 6 ファイル名: 間的 Rah ファイルの種類 3~(0)724.16: (\*max\*ait) 2,\* -目白約は現

ファイルを開くと"読み込みオプション"ウインドウ が開きます。

"読み込みオプション"ウインドウの "作業ディレクトリにファイルを コピー"にチェックを付け、 "OK"をクリックする



取り込んだファイルをCubase LE上にどのように 並べるかを選択するウインドウが表示されます。 "異なるトラック"
 または、
 "1つのトラック"をクリックして
 取り込み方法を選択する

オーディオデータが Cubase LEのトラックに取り 込まれます。

◆ Cubase LE 5
 ▼オプジェクトを意とのて1つのトラックに描入しますか、それとも、1つ1つを別トのトラックに描入しますか?
 1つ01520
 ■ 4561522

#### 通常は"異なるトラック"を選びます。

こうすれば、取り込んだファイルの数だけ自動的 にトラックが作成され、ファイルは縦方向に配置 されます。

"1つのトラック"を選ぶと、1本のトラックに横方向に配置されます。

#### HINT

- ・プロジェクトのデータは、SDカードのZOOM\_R8 フォルダ内のPROJECTフォルダの中に、プロジェ クト毎にフォルダを作成して管理しています。オー ディオデータは、各プロジェクトフォルダ内の AUDIOフォルダの中にWAVファイルとして保存さ れています。AUDIOフォルダ内のPRJINFO.TXTに は、トラックに割り当てられているファイル名が書 かれています。
- ・マスタートラック、ステレオトラックはステレオ WAVファイルです。
- ・コンピューターからWAVファイルを送り込む場合、
   取り込みたいプロジェクトのフォルダの"AUDIO"に
   コピーしてください。トラックに割り当てたい場合は
   は**吊8**で操作します。

## オーディオインターフェースモードのミキサー

オーディオインターフェースモードでは、**屏8**の内部ミキサーを使ってモニター用のミック スを作ることができます。また、内蔵ミキサーとPCからの返りの音のバランスを調整する ことも可能です。

#### VOLUME, REVERB SEND, PAN

レコーダーモードと同様に、センドリバーブへ の送り量、パン、ボリューム、ステレオリンク が使えます。 操作方法は、レコーダーモードと同様です。 (参照:オペレーションマニュアル P.41)

#### PAN/EQで使用できるメニュー

ボリューム

INPUT端子1~2の音量を変更する

0~127(1刻み)初期値は100

#### リバーブセンド

INPUT端子1~2の センドレベルを変更する

In	putl ≯	
PAN	Center	0~.100(1刻2)切期店け0
REV SEND	0	(レコーダーモード同様)
VOLUME	100	モニター信号のみリバーブがか
ST LINK	Off	かります
	l	
I ONZOFF I		

#### STEREO LINK

#### ステレオリンク

INPUT1、2端子をステレオとして取り扱う

Ine	it1/2
PAN	Center
REV SEND	0
VOLUME	100
ST LINK	On

On/Off 初期設定はOff ステレオリンクを設定するとINPUT1、2 端子の VOLUME、 REVERB SEND、PANのトラックパラメーターが共通になります。 (参照:オペレーションマニュアル P28)

#### [BALANCE]

オーディオインターフェースモードでは、モニ タリング信号とDAWソフトウェアからの出力 のバランスを[BALANCE]コントローラーで調 整できます。



DIRECT

DAW

右 DAWソフトウェアの 返りのステレオ信号 のみ

#### パン(バランス)

INPUT端子1~2のパンを変更する



NOTE

 ・ミキサーのREVERB SENDの値、PANの値、 VOLUMEの値、STEREO LINKの設定はオー ディオインターフェースの解除時に保存され、次 回に引き継いで使用できます。 **席8**のチューナーは、レコーダーモード同様に使えます。詳細はオペレーションマニュアル (P.107)を参照してください。



## オーディオインターフェースモードのエフェクト

サンプリング周波数が44.1kHzのとき、**R8**のインサートエフェクトとセンドリターンエフェクトが使えます。基本操作は共通ですが、いくつかメニューに違いがあります。

#### インサートエフェクト

レコーダーモードと同様に、挿入位置を選び、 インサートエフェクトのアルゴリズムやエフェ クトパッチを使い録音信号の加工ができます。

#### インサートエフェクトで使用できるメニュー

#### 挿入位置の選択

INPUT 1~2に挿入できます



(参照:オペレーションマニュアル P.44)

センドリターンエフェクト

オーディオインターフェース時は、モニター信 号にのみセンドリバーブが使用できます。 レコーダーモードと同様に、パッチの操作を 行う[SEND RETURN EFFECT]メニューと、 かかり具合を調整するためにミキサーへの送り 量を調節する[PAN/EQ]メニューを使います。

#### センドリターンエフェクトで使用できるメニュー

#### **REVERB SEND**

REVERBへの送り量を変え、エフェクトのか かり具合を調整できます

In	put1	•
Pan	L100	
REV SEND	0	
VOLUME	0	
ST LINK	Off	

(参照:オーディオインターフェースモードのミキサー P25) (参照:オペレーションマニュアル P.43)



DAWソフトウェアの録音には反映させず、モニ ターしている信号にのみエフェクトをかける設 定です



<sup>(</sup>参照:オペレーションマニュアル P.88)

#### NOTE

- ・エフェクトはサンプリング周波数が44.1kHzの ときのみ使用できます。それ以外ではオフとなり ます。
- INSERT EFFECT/SEND RETURN EFFECT の設定はオーディオインターフェースの解除時に 保存され、次回に引き継いで使用できます。

## パッチの初期化

編集を重ねた後、編集前の状態に戻したいときにはパッチの初期化を行い、工場出荷状態に 戻します。



## その他のDAWのコントロールサーフェース設定方法 1

Cubase LE以外のDAWソフトウェアも各種の設定をすることで、**用8**をコントローラーとして活用することが可能です。詳細は各DAWソフトウェアのマニュアルを参照してください。



"ZOOM R8"を選択する

## SONAR コントロールサーフェース設定方法 編集 - 環境設定メニューを選び、 コントロールサーフェスを クリックする 追加ボタンをクリックして、 コントロールサーフェスの 設定ダイアログを開く コントロールサーフェス欄の ドロップダウン・メニューから "ZOOM R Series"を選ぶ 入力/出力ポート欄で、 それぞれ"ZOOM R8"を選択する Cakewalk SONARの場合は、"コントロール・サー フェース・プラグイン"のインストールが必要です。 ドライバのインストール時に、あわせてインストー ルしてください。

 ファンクションキーの設定方法
 編集 - 環境設定メニューを選ぶ
 詳細設定をクリックする
 キーバインドをクリックする
 キーバインドをクリックする
 \*設定"の"キーを探す"を押す
 第8上の設定したいF1~F5を 押し、現在割り当てられている 機能の表示から、 必要に応じて機能を変更する
 上記手順は.SONAR X1における手順を再現したも のです。

> お手持ちのSONARのバージョンによっては、各メ ニューの名称などが異なる場合があります。

> 詳しくは、お手持ちのSONARのマニュアルを参照 してください。

## その他のDAWのコントロールサーフェース設定方法 2

	bleton Live		
P	コントロールサーフェース設定方法	9	ファ
1	"オプション"メニュー(Windows)/ "Live"メニュー(Mac)から "環境設定"を選択する	1	L
	環境設定ウインドウが開きます。	2	アヨ
2	環境設定ウインドウ左側の 設定項目から"MIDI"を クリックして選択する		タコを
	MIDIに関する設定ウインドウが開きます。	3	□ F
3	コントロールサーフェースの プルダウンメニューで "Mackie Control"を選択する		上 も お
4	入力、出力のプルダウンメニュー でL/Rそれぞれ "ZOOM R8"を選択する		二 詳 く)
5	MIDIPorts設定で "Input:MackieControlInput		

(ZoomR8)"の "リモート"をオンにする ファンクションキーの設定方法

- LIVEの右上のMIDIスイッチを押し、 MIDIマップモードに切り替える
- 2 アサイン可能なインターフェース 要素が青色で強調されるので、 コントロールしたいパラメーター をクリックする
- コントロールを割り当てたい**用8**の F1~F5キーを押す

上記手順はAbleton Live8における手順を再現した ものです。

お手持ちのLIVEのバージョンによっては、各メ ニューの名称などが異なる場合があります。

詳しくは、お手持ちのLIVEのマニュアルを参照して ください。

Di	gital Performer
þ	コントロールサーフェース設定方法
1	"Audio MIDI 設定"を起動する (/アプリケーション/ユーティリティ)
2	"MIDI スタジオ"を表示し、 "R8"が表示されていることを 確認する
3	"装置を追加"をクリックする "新しい外部装置"が追加されます。
4	追加した"新しい外部装置"を クリックして選択し、 "情報を見る"をクリックする
5	"装置名"欄に、 "R8"と名前を入力する
6	"R8"の下向きの矢印と 追加した"R8"の下向きの矢印を マウスでドラッグして接続する 同じょうに上向きの矢印も接続してください。
7	Digital performer を起動する
8	"Set up"メニューから "Control surface Set up"を 選択する
	Control surface ウインドウが開きます。

Control surface ウインドウの "+"アイコンをクリックし、 "Driver"のプルダウンメニューから "Mackie Control"を選択する

10 下側に"Unit"が表示されるので、 プルダウンメニューから "Mackie Control"を選択する

Control surface ウインドウの "MIDI"のプルダウンメニューから "R8"を選択し、メニューリストの "R8-1"を選択する

"OK"ボタンをクリックする

12 上記手順は、Digital Performer7における手順を再現したものです。

> お手持ちのDigital Performerのバージョンによっ ては、各メニューの名称などが異なる場合があり ます。

> 詳しくは、お手持ちのDigital Performerのマニュ アルを参照してください。

#### ファンクションキーの設定方法

Digital Performerの場合にはあらかじめ機能が割り当てられており変更することができません。

[AUTO PUNCH IN/OUT]キー:ダイアログボックス上の YES選択

[A-B REPEAT]キー :ダイアログボックス上のNO選択 MARKER [ I◀◀ ]キー:トラックグループ/グループ作成 MARKER [ ▶►I]キー:割り当てなし [MARK/CLEAR]キー:割り当てなし

詳しくは、お手持ちのDigital Performerのマニュアル、 Mackie Controlのダイアログボックス、トラックグループ を参照してください。



**株式会社ズーム** 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4-4-3 ホームページ http://www.zoom.co.jp

R8-Audio Interface Manual-J-1

## Mac OS X 10.5.8 環境でお使いの方へ

Mac OS X 10.5.8 環境でお使いの方で、オーディオインターフェースとしてご使用の際に ノイズが発生する場合は、下記の手順に従ってオーディオクラス設定を変更してください。



#### HINT

・USB Audio Class とは .... USB につながるオーディオデバイス用の規 格です。UAC1.0 と 2.0 があり、UAC2.0 で は Hi-Speed (480Mbps) モードで転送する ことができ、レイテンシーが小さくなります。

#### NOTE

 Windows や Mac OS X 10.6.5 以降をお 使いの方は、初期値である UAC2.0 のままで 使用してください。

## Cubase LE スタートアップガイド

Windows この「Cubase LE スタートアップガイド」では、Cubase LEをコンピューターにインストールし、**R8**の接続や各種設定の手順を説明します。

Windows 7(または Vista、XP)が動作するコンピューター に**尺多**を接続し、オーディオの入出力ができるように設定 します。 なお、インストール時の操作は、Windows 7を例に説明し ます。

#### **R8**に付属するCubase LEインストールDVD-ROMを、 コンピューターのドライブに挿入しインストールする。

DVD-ROMを挿入すると、操作を尋ねる画面が表示されますの で、"Cubase\_LE\_5\_Start\_Center.exe"を選んでください。 Cubase\_LE\_5\_Start\_Center.exeを選択すると言語を選択す る画面が表示されますので、使用する言語を選んでください。選 択を行った後は画面の指示に従ってください。



#### HINT

DVD-ROMを挿入しても何も起きない場合は、"スタート" メニューから "コンピューター" (XPでは "マイコンピュータ")を選び、表示される "Cubase LE 5" DVD-ROMのアイコンをダブルクリックして開き、 DVD-ROMの内容を表示させてください。

#### NOTE

Cubase LEを継続して使用していただくために、ユーザー登録とソフ トウェアライセンス認証が必要です。登録と認証は、インターネット に接続した状態でCubase LEを起動したときに行えます。起動時に表 示される「今すぐ登録」ボタンをクリックし、表示されたすべての項目 を入力してください。登録と認証をされない場合は、インストール後 一定期間のみ使用可能です。

#### **9 R8**に付属されているSDカードのDrivers> Windows>32bit(または64bit)の"Setup.exe"

#### もしくは

ズームのホームページ(http://www.zoom.co.jp)から、 最新の"ZOOM R8 Audio Driver"をダウンロードし、 コンピューターにインストールする。

ZOOM R8 Audio Driverは、**R8**をCubase LEのオーディオ 入出力として使用するために必要なソフトウェアです。 ダウンロード時に付属する"R8 Driverインストールガイド (Windows).pdf"を参考に、正しくインストールしてください。 32bitフォルダの"setup.exe"は、Windows<sup>®</sup>XP SP3以降、 Windows<sup>®</sup>Vista SP1以降、Windows<sup>®</sup>7以降の32bit版OS専用 です。

64bitフォルダの"setup.exe"はWindows®Vista SP1以降、 Windows®7以降の64bit版OS専用です。

### 【ドライバのインストール方法】

Setup.exe ファイルを、ダブルクリックしてインストーラを起動してください。

#### ■セットアップ言語の選択 言語を選択して、 インストールで使用する言語を次の中から選択して下さい。 ٹ [OK]をクリックして ください。 日本語 OK(0) キャンセル ■インストールウィザードの開始 [次へ]をクリックし ウィザードへようこそ て、インストールを ی 開始してください。 stallShield(R) ウィザードは、ご使用のコンピュータへ R8 iver をインストールします。じかへ」をクリックして、統行してくだ 警告:このプログラムは、著作権法および国際協定によって(報 < 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

#### ■ドライバ・プラグインの選択

# 2004 R8 Driver- LindzilShield Woord ンボーネント電源 スポーネント電源 てんまったいを確認して(反気) COLV-ルタを定成していたい Colver Colver-ポントを確認して(反気) Colver-ポントを確認して(反気) Colver-ポントを確認して(反気) Colver-ポントを確認して(反気) Colver-ポントの Colver-ポントを確認して(反気) Colver-ポントを確認して(反気) Colver-ポントを確認して(反気) Colver-ポントを確認して(反気) Colver-ポントの Colver-ポントの Colver-ポントを確認して(反気) Colver-ポントの Colver-ポントを確認して(反気) Colver-ポントの Col

#### ■プログラムのインストール開始



"Windows セキュリティ このデバイスソフトウェアをインストールしますか?"と警告ダイアログが表示された場合は"インストール (I)"をクリックしてください。

#### ■インストールウィザードの完了



#### NOTE

**常多**のシステムソフトウェアは、常に最新の状態にしてください。古いシ ステムでは、パソコン側から正しく認識できない場合があります。最新の システムソフトウェアは、当社ホームページからダウンロードできます。



#### NOTE

・USBケーブルは、高品位でなるべく短いものを使用してください。 3m以上のUSBケーブルを用いると、電圧低下の警告が出ることが あります。

・Windows 7 / Vistaの場合

**R8**をコンピュータに接続すると、"デバイス ドライバ ソフ トウェアをインストールしています"と表示され、自動的にド ライバがインストールされます。インストールが完了すると "デバイス ドライバ ソフトウェアが正しくインストールされ ました"と表示されます。

#### ・Windows XPの場合

**R8**をコンピュータに接続すると、"新しいハードウェアが見 つかりました ZOOM R8 Audio Interface"と表示されます。 "ハードウェアのインストール"という警告ダイアログが表示 された場合は、[続行]をクリックしてください。 "新しいハードウェアがインストールされ使用準備が出来まし た。"のメッセージが表示されるまで、しばらくお待ちください。

# 3 コントロールパネルの"サウンド"ウインドウを表示させて、コンピューターの入出力デバイスの設定をする。

"サウンド"ウインドウを表示させるには、まずスタートメニュー から"コントロールパネル"を選び、次に表示されたウインドウ で"ハードウェアとサウンド"→"サウンド"の順にクリックします。



サウンドウインドウでは、再生/録音デバイスに"ZOOM R8 Audio Interface"が表示され、チェックが入っていることを確認します(再 生/録音の表示はウインドウ上部のタブで切り替えます)。

チェックが入っていない場合は、デバイスを表すアイコンを右 クリックして、表示されるメニューの"既定のデバイスとして設 定"にチェックを入れます。

譲面へ続く



表面より

Windows



他の項目が選択されていた場合は、プルダウンメニューを使って 選択をやり直してください。

確認が終わったらOKボタンをクリックしてウインドウを閉じます。

#### G Cubase LEの"デバイス"メニューから"VSTコネク ション"を選び、表示されるウインドウで入力/出力 ポートに"ZOOM R8 Driver"の文字を含むデバイス を設定する。

00		vst ⊒≉	・クション - 入力 カ 出力	
田日 すべて バスを バス名	を追加 ブ	リセット		
▼ ≰{ Stereo In -o left -o right	Stereo	ZOOM R8 Driver	ZOOM R8 Driver L ZOOM R8 Driver R	

上部中央のタブを使用して入力/出力を切り替え、デバイスポー トに"入力: ZOOM R8 Driver L(R)、出力: ZOOM R8 Driver 1 ~2"が選ばれているかどうかを確認してください。 他の入出力が選ばれている場合は、デバイスポートの欄をクリッ クして選び直します。

#### 快適に使用するために

Ô

 $(\bullet)$ 

\$ ?

值 dB 消音 Thru

**Q** ||

[OUTPUT端子] オーディオコンポや

アンプ内蔵スピーカ-

 $(\bullet)$ 

など

USBケーブル

Cubase LEを使用中に、極端にアプリケーションの動作が遅くなっ たり、「USBオーディオインターフェースとの同期がとれない」など のエラーメッセージが表示されたりすることがあります。このよう な現象が頻繁に起きるときは、以下のような点に注意すると、改善 される場合があります。

#### (1) Cubase LE以外に動作しているアプリケーションを 終了させる

特に常駐ソフトなどが多く登録されていないかを確認してください。

#### (2) Cubase LEで使用しているプラグインソフト (エフェクト、音源プラグイン)を減らす

プラグインが多い場合、コンピューターの処理性能が追いつかなくなって いることが考えられます。また、同時再生トラック数を減らすことも有効 です。

音切れが発生したら、デバイスメニューからレーテンシーの設定を その他、アプリケーションの動作が極端に遅くなり、コンピューター 自体の操作に支障をきたす場合は、一度R8のUSB端子をコン ピューターから取り外してCubase LEを終了した後で、再度USB 端子を接続してからCubase LEを再起動してみてください。